

教育デザインフォーラム学生発表会

## 発表会に関する小委員会報告

大学院運営委員会教育デザイン小委員会

関戸 英紀・橋本 ゆかり・金光 真理子

### 1. 目的

横浜国立大学大学院教育学研究科1年生の必修・コア科目である「教育デザイン」の授業の一環として行われ、研究成果の発表の場でもある。また、異なった専門領域の研究発表を聞くことで、多様な研究事例、研究方法、教育教材等についても学ぶことができる貴重な機会である。

### 2. 日時

平成28年6月19日(日) 16:00～18:00

第一発表: 16:00～16:45

第二発表: 16:55～17:40

### 3. 会場

横横浜国立大学 教育人間科学部 講義棟7号館

### 4. 発表内容

次頁以降に記載されているとおりである。

### 5. 発表の実施形態

平成23年度から基本的には同じ実施形態をとっている。司会進行は学生が行う。なお、今年度は各発表の後に参加者との交流の時間を設けた。

①タイムスケジュール: 専門領域ごとに第一発表と第二発表の2回の発表を行った。時間配分を、発表20分、質疑応答10分、参加者との交流15分とした。なお、第一発表と第二発表のテーマは、異なってもよいことにした。

②発表方法: ポスター発表形式である。A1サイズのポスターに発表内容をまとめることを基本とし、それに基づいて発表を行った。

③発表資料: レジュメ等を用意し、参加者に配付した。

### 6. 成果

大学院説明会実施後に開催したため、多くの一般の方の参加があった。本研究科への進学を考えている参加者には、本研究科の教育・研究の一端を理解してもらうよい機会になった。

発表者は、学術的な発表の体験をすることができ、また様々な専門領域の学生や一般参加者との質疑応答を通じて、多角的な研究の視点を学ぶことができたと考えられる。参加した学生は、異なる専門領域の研究内容、研究方法、教育教材等について学ぶことができたと思われる。

発表会で得られた成果は、今後の勉学・研究、さらには修士論文の作成や発表に生かされることが期待される。

### 7. 発表会の今後の課題

大学院説明会の直後に開催したため、多くの一般の方の参加があった。本研究科の教育・研究の一端を理解してもらう意味でも、次年度もこのような日時の設定が望ましいと考えられる。

また、発表者を含めた参加者に、この発表会に関するアンケートを実施し、学生・一般参加者から見た評価や感想等について集約し、それを次年度の発表会に生かしていく必要がある。

また、発表会は学生にとって発表及び学びの場であると同時に、本研究科の研究成果を社会に発信する重要な場でもある。この点に関しては、今後積極的にアピールしていく必要がある。